

【石神井公園駅周辺の見学会】平成29年7月4日開催
連続立体交差事業が完了した西武池袋線の石神井公園駅周辺を見学しました。
その後、連続立体交差事業にあわせたまちづくりについて、意見交換を行いました。



＜側道を見学＞



＜石神井公園につながるバス通りを見学＞



＜石神井公園につながる道路整備状況を見学＞



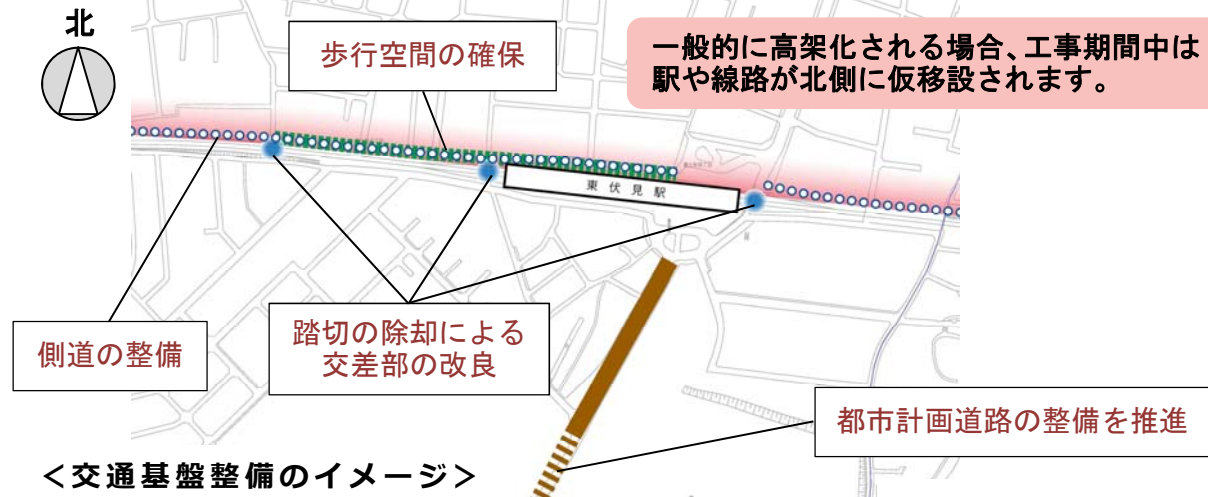
＜高架下利用例＞
左：保育所（民間） 右：駐輪場



＜意見交換の様子＞

今後の予定

開催日	開催内容	開催日	開催内容
平成29年9月	＜第6回まちづくり懇談会＞ 交通基盤整備、まちづくり構想（素案）について	平成30年1月	＜パブリックコメント＞ まちづくり構想（案）のパブリックコメントの実施
平成29年10月	＜第7回まちづくり懇談会＞ まちづくり構想（案）について	平成30年2月	＜第8回まちづくり懇談会＞ まちづくり構想の策定
平成29年12月	＜地区説明会＞ まちづくり構想（案）の地区説明会	平成30年2月	まちづくり構想の公表



東伏見駅周辺のまちづくりを 検討しています

—道路と鉄道の連続立体交差事業を見据えたまちづくりの検討—

『東伏見駅周辺地区まちづくり構想』策定に向けた意見交換を行っています

東伏見駅を含む西武新宿線の井荻～東伏見間は、東京都により、平成28年3月に、連続立体交差事業の事業化に向け、新規に着工を準備する区間として「社会資本総合整備計画」に位置付けられました。

東京都が主体となって実施する連続立体交差事業を見据え、西東京市では、東伏見駅周辺をもっと住みやすく、いつまでも住み続けたいまちとしていくため、踏切が除却された後のまちの将来を考えた「東伏見駅周辺地区まちづくり構想」を策定します。

策定にあたり、地域の皆様から委員を募り、策定に向けた意見交換などを行う「東伏見駅周辺まちづくり懇談会」を平成29年3月に立ち上げました。

今回のまちづくりニュースでは、第1回から第5回のまちづくり懇談会や、7月に実施した石神井公園駅周辺の見学会の開催内容をお伝えします。

開催日	開催内容
平成29年3月14日	＜第1回東伏見駅周辺まちづくり懇談会＞ 開催場所：東伏見ふれあいプラザ 内容：連続立体交差事業の概要、地区の現況について
平成29年4月25日	＜第2回東伏見駅周辺まちづくり懇談会＞ 開催場所：東伏見ふれあいプラザ 内容：駅周辺、住宅地の現況及び課題について
平成29年5月30日	＜第3回東伏見駅周辺まちづくり懇談会＞ 開催場所：東伏見ふれあいプラザ 内容：みどり・水辺・景観、交通環境の現況及び課題について
平成29年6月27日	＜第4回東伏見駅周辺まちづくり懇談会＞ 開催場所：東伏見ふれあいプラザ 内容：まちづくりにおける今後の取組みについて
平成29年7月4日	＜石神井公園駅周辺の見学会＞ 開催場所：石神井公園駅周辺 内容：現地見学、石神井公園駅周辺まちづくり等の説明・意見交換
平成29年8月22日	＜第5回東伏見駅周辺まちづくり懇談会＞ 開催場所：東伏見ふれあいプラザ 内容：交通基盤整備について

【お問い合わせ先】

都市整備部 都市計画課 都市計画担当
〒202-8555 西東京市中町一丁目5番1号 保谷庁舎5階
電話：042-438-4050 ファクス：042-438-2022
Eメール：toshikei@city.nishitokyo.lg.jp
(右のQRコードを読み取りください)



西東京市



まちづくり懇談会でのご意見（会議資料など詳細は西東京市ホームページをご覧ください。）

第2回から第4回のまちづくり懇談会では、ワークショップ形式などにより、地区の現況・課題や今後の取り組みについて意見交換を行いました。これまで出されたご意見の一部をご紹介します。



＜ワークショップの様子＞

都内で行われている連続立体交差事業の多くが高架化されている事例が多いことから、高架化をイメージして検討を行っています。

一般的に高架化される場合、整備のための用地が必要となり、高架化した後は、道路として整備されることが多いです。



高架化のイメージ
（東京都ホームページより）

交通環境について

＜現状・課題・要望＞

- 踏切が時間帯によって長時間開かない。
- 駅から下野谷遺跡公園へ向かう道は事故に遭いそうで危ない。
- バスが入るにはロータリーが狭い。
- 駐輪場が不足している。 など

＜今後の取り組み＞

- 西武新宿線の連続立体交差事業の促進
- 西3・4・17（東伏見線）の整備の推進
- 連続立体交差事業を契機とした駅前広場の再整備の検討
- 駐輪場の需要に応じた整備と放置自転車対策の推進 など

みどり・水辺・景観について

＜現状・課題・要望＞

- みどり、水辺等の景観は十分にある。 ○地域の特長を活かしたまちづくり
- 農地は大事にしたい。 など

＜今後の取り組み＞

- 地域資源を活用した観光・交流の促進
- 地域内に散在する農地の保全と活用 など

駅周辺について

＜現状・課題・要望＞

- 子育て環境が整っていない。商店、公共施設が充実していないなどの理由により、人口が少ない。
- 新しい店舗を出す魅力がない。 ○地域の特色を出し、市外から人を呼び込む。 など

＜今後の取り組み＞

- 子育て世代の居住を促進するため、保育園や児童館などの子育て支援施設の整備を検討（駅ナカ・駅チカへの子育て支援施設の設置要望）
- 連続立体交差事業を契機とした駅前広場の再整備の検討、商業施設の誘致の検討、駅前にふさわしい街並みの形成
- 地域の特色（歴史、みどり、新たな特色など）を活かしたにぎわい、魅力の創出 など

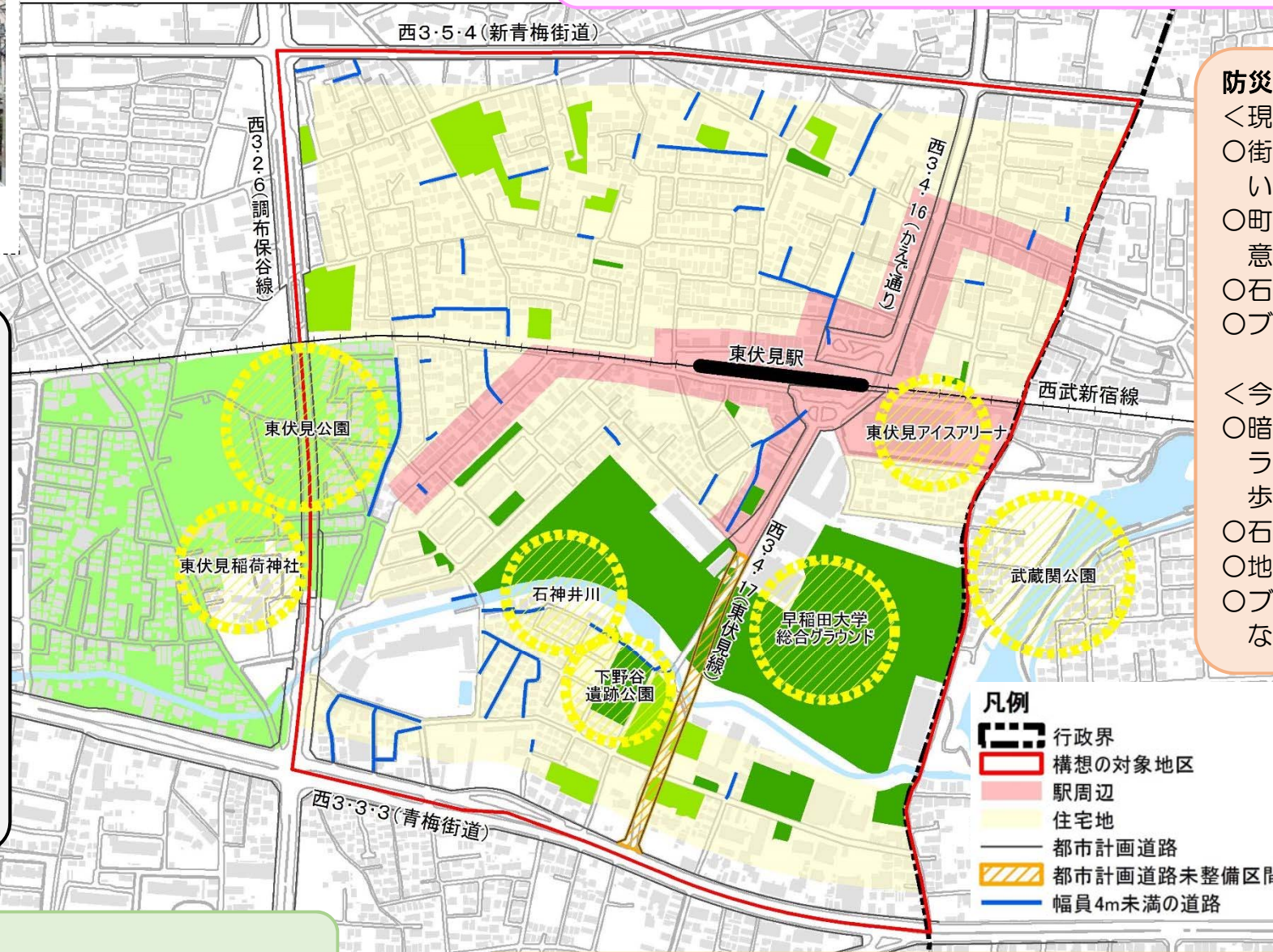
防災・防犯について

＜現状・課題・要望＞

- 街路灯が少なく、駅から少し離れると特に暗い道が多い。
- 町内会・自治会がないため、防犯・防災等の意見交換をする場がない。
- 石神井川は崖崩れ等の対策が必要
- ブロック塀の生垣化を推進 など

＜今後の取り組み＞

- 暗がりにおける防犯対策（街路灯、防犯カメラ等の設置）や、交通安全施設（信号、横断歩道等）の設置の検討
- 石神井川の崖崩れ対策の促進
- 地域ぐるみでの防犯・防災に対する意識向上
- ブロック塀の生垣化や消火栓の整備の検討 など



住宅地について

＜現状・課題・要望＞

- 子育て世代には住みにくい。 ○高齢者が多いが、高齢者が活躍、参加しづらいまちになっている。
- 緊急車両が入れない狭い道路の解消 など

＜今後の取り組み＞

- 現在の良好な住環境を維持しつつ、子育て世代や高齢者が住みやすい環境を創出する。
- 狭い道路の解消による安心安全な住宅地の形成 など